

決算審査 特別委員会の審査から

総務費

▼2款1項1目 一般管理費

問 真岡市ケーブルテレビ加入者の実績はどのようになっていくのか。

答 平成27年度末の加入状況は、35335世帯で、加入率は12・53%である。同年度中に、新規に加入契約した世帯数は391世帯、解約した世帯数は55世帯で、前年度から336世帯の増加である。

問 自主防災組織育成費を用いて取り組んだ事業内容とその実績を伺う。

答 防災資機材が未整備であった東光寺と西郷西の自主防災組織に、担架、ヘルメット、救助工具セット等を整備するとともに、自主防災活動ガイドブック等の配布や自主防災組織リーダー養成研修を実施した。

▼2款1項6目 企画費

問 ふるさと寄附推進事業費について、寄附者謝礼品の内容を伺う。

答 生産量日本一のいちごをはじめ、真岡木綿製品、SL関連商品、自家焙煎のコーヒー、真岡の地酒、井頭温泉チャットパレスと鬼怒公園ゴルフ場の宿泊パックなど、119種類の謝礼品を取り揃えている。

問 いちごタクシー及びコットベリー号運行業務において、利用度合の説明を求めます。

答 利用者数は1万7968人、1日当たりでは73・9人であり、計画に掲げた目標である1日当たりの利用者数75人に近い実績となっている。コットベリー号で、27年度の利用者は1万9664人、1日当たりでは54・8人であり、計画に掲げた目標である1日当たりの利用者数60人に近づいてきている状況である。



民生費

▼3款1項1目 社会福祉総務費

問 子どもの学習支援事業の内容について伺う。

答 要保護、準要保護世帯の中学生1年生から3年生までの希望する生徒を対象に、一般社団法人への業務委託により、通常は毎週1回、午後4時から7時までの3時間、真岡及び二宮地区の2か所で学習支援教室を開催しており、学習科目は、国語、数学、理科、社会、英語の5科目である。

▼3款2項6目 特定地域型保育事業費

問 小規模保育事業費について、事業内容、事業所数、利用人数を伺う。

答 定員6名から19名の0歳から2歳の子どもを保育する事業で、イオンタウン真岡店内に1施設があり、利用人数は19名である。

衛生費

▼4款1項3目 保健指導費

問 不妊治療の助成件数が平成26年度から20件増加しているが、

その理由を伺う。

答 平成28年度から県助成制度の改正があり、新たに対象年齢の上限の設定や通算助成回数減少等が予定されていたことから、27年度中に取り組む夫婦が増えたと考えられる。

▼4款2項1目 清掃総務費

問 予算額に対して、ごみ減量化推進事業費の決算額が増加した理由を伺う。

答 指定ごみ袋の不足による指定店への販売手数料や、スマートフォン端末を利用した資源・ごみ分別促進アプリを導入することに伴う手数料、サーバー使用料、4か国語に翻訳するための筆耕翻訳料を補正したことによる。

商工費

▼7款1項3目 観光費

問 栃木県アンテナショップにおいて真岡市の商品が売れた実績を伺う。

答 平成27年度は6事業者によるもので、真岡木綿製品や落花生、日本酒など24品目で、売上額は47万3883円であった。

土木費

▼8款3項1目 河川総務費

問 小貝川五行川フラワーベルト事業の実施場所、面積、事業内訳等を伺う。

答 小貝川フラワーベルトは、面積が2万4500㎡であり、君島、道祖土、根本の3自治会にコスモスの種まきや除草などを、五行川フラワーベルトでは、面積が2460㎡であり、荒町3区自治会に、花植えや除草などの管理をお願いしている。

教育費

▼10款4項8目 芸術文化振興費

問 子ども未来育成事業費について、平成26年度より増額になった理由を伺う。

答 新たにヴァイオリンと琴の合奏教室及び指導者派遣事業を実施したため、増額となったものである。

